

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷春敏

事業名 としけいかくどうろかわらぐちかつせせん 都市計画道路河原口勝瀬線 （限度額立体交差事業）	事業区分 街路	事業主体 海老名市
起終点 自：神奈川県海老名市河原口 至：神奈川県海老名市勝瀬	延長 0.7 km	
事業概要 本路線は、県道40号（横浜厚木）から東西方向に延長約1.25kmの幹線道路であり、市道大谷峰線に接続し、厚木市から中心市街地をとおり綾瀬市へ結ぶ重要路線である。 また、さがみ縦貫道路海老名北ICへの東西方向のアクセスを強化する路線である。		
H9年度事業化	H8年度都市計画決定 （H年度変更）	H10年度用地着手
H17年度工事着手		
全体事業費 26億円 事業進捗率 73.7% 供用済延長 0 km		
計画交通量 13,000台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.4 (残事業) 33.9	総費用 (残事業)/ (事業全体) 3.1億円/31億円 (事業費: 2.7億円/31億円) (維持管理費: 0.36億円/0.36億円)
総便益 (残事業)/ (事業全体) 105億円/105億円 (走行時間短縮便益: 104億円/104億円) (走行経費減少便益: 2.8億円/2.8億円) (交通事故減少便益: -1.3億円/-1.3億円)		基準年 平成19年
事業の効果等 交差する小田急線の限度額立体事業と共に整備する事により中心市街地の交通渋滞を解消する。 さがみ縦貫道路海老名北ICへの円滑なアクセスを確保する。		
関係する地方公共団体等の意見 本路線の整備により下今泉門沢橋線と接続し、周辺の渋滞解消、交通利便性の向上を図ります。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 海老名駅周辺への商業施設の立地により、中心市街地の交通量が増え、需要も高まっています。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は73.7%となっており、残事業としては一部用地買収と道路改良工事です。 平成17年度より一部工事に着手しています。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 難航していた用地交渉が好転し、代替地での事業協力に向け、現在代替地を詮索中であり、円滑な事業の進捗が見込まれる。		
施設の構造や工法の変更等 舗装材及び路盤材について、再生材を利用することによりコスト削減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 小田急線の限度額立体事業と共に進めることが、踏切による交通渋滞の解消とさがみ縦貫道路海老名北ICへのアクセスとして事業継続する必要があると判断しました。		
事業概要図		
<p style="text-align: center;">事業区間 L=0.7km</p>		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。